

I 平時と災害時のシームレスな「スマート会計事務」の展開

これまでの取組み

- ・会計事務効率化検討チームを立ち上げ、RPAを活用した会計事務の自動化を実証中
 - ・大規模災害時の資金の安定供給体制を構築するため、市町や関係機関による連携協議会を設置
- 会計事務の効率化・災害対応力の強化！**

平成31年度

会計事務の更なる効率化

- ・RPAを活用した会計事務自動化実証から本格実装へ
- ・AIを活用したFAQによる被災者支援資金等の相談機能の強化



RPAでスピード化・県民サービス向上

II 未収金の更なる削減

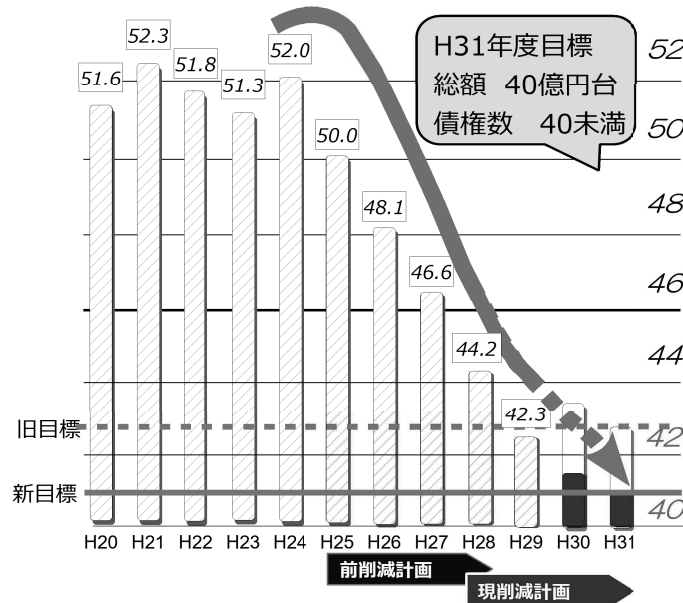
これまでの取組み

- ・平成25年度から全庁的な未収金対策を推進
 - ・重点未収金9債権などの取組強化により、現計画の未収金目標額を2年前倒しで達成
 - ・平成31年度末目標を42億円台から40億円台へ
- 5年間で約10億円の削減を達成！**

平成31年度

未収金削減計画を着実に実践

- ・全庁一丸となった取組の強化
- ・新たな未収金の発生抑制
- ・法的アドバイスを行う「専門者会」の機能強化



県民負担の公平性と歳入確保

III 工事検査の更なる進化と若者への技術継承

これまでの取組み

- ・「工事検査管理システム」と「タブレット端末」の活用による工事検査のモバイルワークを推進
 - ・検査の視点から、若手技術者の技術力向上を支援
- 現場検査の省力化と技術の継承！**

平成31年度

検査の更なる効率化と技術継承

- ・更なるモバイルワークの推進
- ・検査スキルの向上
- ・検査結果を活用した技術継承



- ・検査基準等の閲覧やテレビ電話機能により、現場完結型検査を実践

毎年約1,000件の
評価データを蓄積

- ・ICT活用工事など最新の検査技術講習会の開催
- ・蓄積データに基づいた工事成績評価の高位標準化



- ・工夫・改善事例の蓄積と共有による若手技術者への技術継承

公共工事の品質向上